

令和6年度 志摩市「日本版ライドシェア」実証事業の実施結果



概要
 観光地である志摩市において、新たな制度「自家用車活用事業」に基づき、地域の自家用車や普通運転免許のドライバーを活用した有償運送を行う実証事業に取り組むとともに、夜間の観光客等の移動需要を把握するためのタクシー需給調査も実施。

実証期間
 (令和6年) 7月22日(月)～9月16日(月・祝)

運行時間
 18時～24時

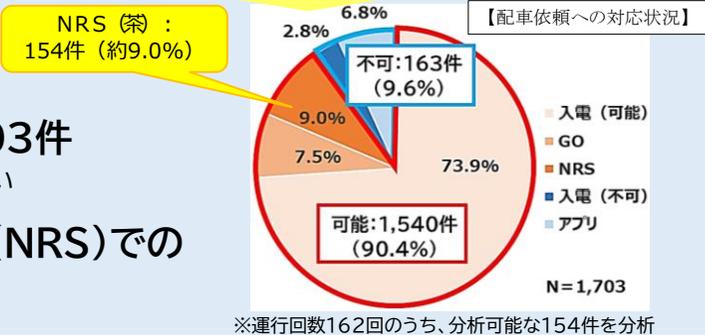
運行台数
 3台 ※日によって異なる

実施結果

① 配車依頼件数と利用実績

○利用者からの配車依頼の総件数は1,703件
 ※電話、アプリによる依頼件数を計上。乗り込みは含まない

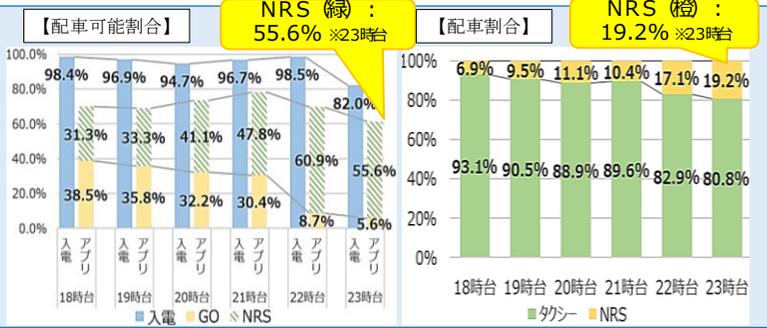
○配車可能において、日本版ライドシェア(NRS)での対応件数は154件(約9.0%)



② 時間帯別の配車(可能)割合

○配車可能割合
 タクシーは遅い時間帯ほど対応可能の割合が減るが、NRSは一定割合で対応。

○タクシーとNRSの配車割合
 遅い時間帯ほど、NRSの割合が高い。



③ 営業回数(配車件数)

○1日あたりの総営業回数は、全期間で64.9回に対し、NRSは2.8回。

○NRSは月を追うごとに増加。



④ タクシーの乗降場所

○鵜方駅がある鵜方、レジャー・宿泊施設がある神明や坂崎、的矢、迫子での乗降が多い。

評価・分析

○利用者からの依頼に対して配車できたのは9割以上となり、総じて高い。

○依頼総件数におけるNRSの配車割合は約9.0%で、一定の割合を占める。

○タクシーの台数が減少する、夜間の遅い時間帯をNRSが補完している。



○事業の周知やアプリの利用促進により、NRSの営業回数が増加。

○夜間の観光客の移動ニーズが一定あることが推察できる。